

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北都保健福祉専門学校
設置者名	学校法人 稲積学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理学療法学科	夜・通信	15単位	12単位	
		夜・通信			
専門課程	作業療法学科	夜・通信	15単位	12単位	
		夜・通信			
専門課程	看護学科	夜・通信	12単位	9単位	
		夜・通信			
(備考) 看護学科～1, 2年生は新課程、3年生は旧課程					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ http://hokuho.ac.jp/csr/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北都保健福祉専門学校
設置者名	学校法人 稲積学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページ <http://hokuho.ac.jp/csr/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員（現職）	令和3年4月30日 ～令和7年4月29日	財務
非常勤	医療法人役員（現職）	令和3年4月30日 ～令和7年4月29日	労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北都保健福祉専門学校
設置者名	学校法人 稲積学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>年度末までに、シラバスの枠内で、コロナ禍で生じる不都合を学科ごとに見直し、改善点もしくは変更事項等に関する妥当性を精査し、次年度のシラバスとして公表している。</p> <p>シラバスには、担当教員名・対象学年・開講時期・単位(時間)数・授業の概要・到達目標・各回の履修主題および履修内容・授業形式・成績評価の方法、基準・教科書(または参考書)を簡潔明瞭に記載している。</p> <p>新入生および在校生にたいしては、年度当初にシラバスを配付するとともに、本校ホームページにより各種情報を更新時期(例年6月中)に公表し、周知徹底をはかっている。</p>	
授業計画書の公表方法	学校ホームページ http://hokuho.ac.jp/csr/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生が各科目シラバス及び学則、履修規程に基づき履修した学習成果の評価は、学則第25条並びに履修規程第4条の評価基準に基づき、厳格かつ適正に行っている。合格は可(60点)以上としており、60点未満の場合は再試験または再履修の後に、改めて評価している。</p> <p>成績評価は、年度当初に学則および履修規程に従った方法により実施することを学生に説明し、年度末に開催される学科会議(または稟議書を介した持ち回り会議)を経て、単位認定(または履修認定)を実施している。</p> <p>学習意欲の把握は、日々の受講姿勢(授業中の態度)や出席状況により判断し、何等かの問題がある学生に対しては、場合により保護者へ状況報告をするなどして早期に改善指導を実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、秀・優・良・可・不可とし、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満としている。不可は不合格とする。再試験では、60点以上を合格として可と評価している。全学科全学年について成績点数の分布図を作成し、シラバスと同様の形で公開している。</p> <p>この分布図から得られる成績状況を各学科教員全員が共有し、以後の教育改善等に向けての対策方法の検討材料としている。</p> <p>また、学内規程に従い、前年度の成績上位者の内から各クラスからそれぞれ1名を成績優秀者として、年度初めに学内選考し、表彰している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学校ホームページ http://hokuho.ac.jp/csr/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定は学則第31条および履修規程第13条に従い、行っている。学則別表1に定める全ての科目について履修完了し単位取得することを卒業認定の条件としている。</p> <p>理学療法学科・作業療法学科は指定規則改正に伴う教育課程（カリキュラム）の変更が令和2年度に実施され、令和4年度が新旧カリキュラム適用学年の最終年となり令和5年度から全学年が新カリキュラムの適用となる。</p> <p>看護学科（修業年限3年）は令和4年度より新カリキュラムとなり、令和5年度が新旧カリキュラム適用学年の最終年となり、令和6年度から全学年が新カリキュラムの適用となる。</p> <p>理学・作業療法学科は卒業生に対し高度専門士の称号が付与され、大学院進学を受験資格が得られる。 看護学科は卒業生に専門士の称号が付与され、保健師・助産師学校受験資格が得られる。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学校ホームページ http://hokuho.ac.jp/csr/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北都保健福祉専門学校
設置者名	学校法人 稲積学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校ホームページ http://hokuho.ac.jp/csr/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	110単位	70単位	/	40単位	/	/
	夜間		110単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		101人	0人	6人	68人	74人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）基礎分野・専門基礎分野・専門分野を設定している。 授業方法は、講義・演習等を実施し、臨床実習は病院・施設等で実施している。年度ごと、科目試験結果と担当講師の評価を踏まえシラバスを確認し、適切に修正・変更を実施している。
成績評価の基準・方法
（概要）当該科目の出席時間数・シラバスに記載している評価方法を用いて評価している。成績評価は、秀・優・良・可・不可とし、秀90点以上、優80点以上、良70点以上、可60点以上、不可を60点未満とし、不可を不合格とする。 再試験合格は可60点として評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定は、学則第31条に基づき実施している。すべての授業科目を履修し、単位を修得しているものについて、学科会議の議を経て行う。進級認定は、履修規程第12条に基づき実施している。
学修支援等
（概要）成績不良者へは、学習方法や未修得分野の確認を行い、学生個々に対応している。また、社会性に問題がある学生には早期に教員と一緒に問題の確認と対応を話し合い、対人関係の構築方法を学んでもらう。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	18人 (90、0%)	2人 (10、0%)
（主な就職、業界等） 病院、老人保健施設、子どもデイサービス			
（就職指導内容） 学生の就職に対する要望をふまえて、当校に届いている求人票から適切なアドバイスを与えている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士免許取得（国家資格）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91人	5人	5、5%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の低下による学業不振により進路変更をした。元々理学療法士を目指しておらず進路変更した。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学業不振による退学は回避できるように個別指導・三者面談等を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療		専門課程	作業療法学科		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
4年	昼間	122単位	75単位	/	47単位	/
	夜間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人		53人	0人	6人	81人	87人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 基礎分野・専門基礎分野・専門分野・作業療法学演習を設定している。授業方法は、講義・実習等を実施し、臨床実習は学外の病院・施設等で実施している。コロナ禍の影響により一部は学内演習（代替授業）として対応している。年度ごと、科目試験結果と担当講師の評価を踏まえシラバスを確認し、適切に修正・変更を実施している。

成績評価の基準・方法
(概要) 当該科目の出席時間数・シラバスに記載している評価方法を用いて評価している。成績評価は、秀・優・良・可・不可とし、秀90点以上、優80点以上、良70点以上、可60点以上、不可を60点未満とし、不可を不合格とする。再試験合格は可60点として評価する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定は、学則第31条に基づき実施している。すべての授業科目を履修し、単位を修得しているものについて、学科会議の議を経て行う。 進級認定は、履修規程第12条に基づき実施している。
学修支援等
(概要) 成績不良者や学習態度不良者へは、個別面談等を実施し原因の解明や解決方法へのサポートを行っている。また学科教員間で学生情報の共有や学校長へ報告し、必要に応じて保護者相談や補講等を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	4人 (66、7%)	2人 (33、3%)
(主な就職、業界等) 病院、老人保健施設、児童デイサービス			
(就職指導内容) 進路希望アンケートや面談を行い、個別相談・面接指導等を実施している。学校に届いた求人情報を学生に開示し、学生の希望に応じて連絡や紹介を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士免許取得（国家資格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	1人	2、3%
(中途退学の主な理由) 進路変更（学習意欲の喪失）のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業不振や対人関係トラブルによる退学は回避できるように個別指導・三者面談等を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療		専門課程	看護学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼間	1、2年生 102単位 3年生 97単位	7.9単位 7.4単位	/	2.3単位 2.3単位	/
			102単位（新課程） 97単位（旧課程）			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人	120人	0人	9人	102人	111人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>新課程：令和4年度より、新課程となる。旧課程の全面的な見直しを行った。新課程では、基礎分野・専門基礎分野・専門分野を設定している。授業方法は、講義・演習等を実施している。</p> <p>新課程より、実習を1年次4月から取り入れ、早期から看護へのモチベーションを上げられるようにしている。</p> <p>旧課程：基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・Ⅱ・統合分野を設定している。授業方法は、講義・演習等を実施している。臨地実習は、病院・施設等を予定し、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、臨地と学内実習を組み合わせ実施した。</p> <p>毎年度、科目試験の結果と授業評価・担当講師による評価を踏まえシラバスを確認し、必要時修正を実施している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>当該科目の出席時間数・シラバスに記載している評価方法を用いて評価している。成績評価は、秀・優・良・可・不可とし、秀90点以上、優80点以上、良70点以上、可60点以上、不可60点未満とし、不可を不合格とする。不合格の際には、再試験を行う。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定は、学則第31条に基づき実施している。すべての授業科目を履修し、単位を修得している者について、学科会議の議を経て行う。進級認定は、履修規定第12条に基づき実施している。1年次の最低年間履修単位40単位を修得した者について2年次進級とし、2年次から3年次へ進級するためには、1・2年次に開講している全ての科目の単位を修得することとする。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>成績不良者への個別指導、自主学習・自主技術練習の推奨ならびに支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	2人 (5、4%)	34人 (91、9%)	1人 (2、7%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 進路希望アンケートを行い、学生面談により、就職活動の支援を実施している。 個別に、就職面接の指導等を実施している。必要に応じて、病院からの奨学金等の紹介を行い、在学中から安心して学習に取り組めるよう支援している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師免許取得（国家資格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118人	1人	0、8%
(中途退学の主な理由) 進路変更（意欲喪失）		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個別面談 ・家族との連携およびフォロー ・個別の学習支援等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理学療法学科	300、000円	900、000円	400、000円	その他は実験実習費 200、000円 施設設備費 100、000円 施設維持費 100、000円
作業療法学科	300、000円	900、000円	400、000円	その他は実験実習費 200、000円 施設設備費 100、000円 施設維持費 100、000円
看護学科	200、000円	750、000円	250、000円	その他は実験実習費 150、000円 施設設備費 50、000円 施設維持費 50、000円

<p>修学支援（任意記載事項）</p> <p>独自の報奨金制度</p> <p>1）各種推薦入学者サポート制度：各種推薦受験者入学する場合、入学初年度前期授業料を一部免除する。</p> <p>2）子弟入学制度：入学者の親・兄弟姉妹が本校の卒業生もしくは在校生である場合、入学金を一部免除する。</p> <p>3）同時入学制度：子または兄弟姉妹が同時入学した場合、どちらか一人分の入学金を一部免除する。</p> <p>4）成績優秀者の報奨制度：1年間を通じて全科目が優秀な成績であり、かつ性行が模範的である者には、前期授業料を一部免除または報奨金を支給する。</p>

b) 学校評価

<p>自己評価結果の公表方法</p> <p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>学校ホームページ http://hokuho.ac.jp/csr/</p>																	
<p>学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）</p> <p>本校卒業生（作業療法学科、看護学科）及び地域関係者各2名の計4名からなる学校関係者評価委員会に諮っている。本校の教育理念、目的、人材育成、学校運営、学生教育全般を含めた37の小項目に関して本校作成の自己点検・自己評価書、事業報告書、学生アンケート、保護者アンケート、財務報告書等の資料にたいして提言または改善事項等の意見を仰ぎ、報告書として取りまとめ公表している。</p>																	
<p>学校関係者評価の委員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国立病院機構 旭川医療センター</td> <td>令和4年6月1日～ 令和6年5月31日</td> <td>卒業生（看護学科）</td> </tr> <tr> <td>医療法人社団 shindo 旭川リハビリテーション病院</td> <td>令和4年6月1日～ 令和6年5月31日</td> <td>卒業生（作業療法学科）・ 同窓会会長</td> </tr> <tr> <td>旭川市保護司会事務局、 元旭川市職員及び元会社役員</td> <td>令和4年6月1日～ 令和6年5月31日</td> <td>地域関係者・保護司</td> </tr> <tr> <td>北央自動車学校</td> <td>令和4年6月1日～ 令和6年5月31日</td> <td>地域関係者・会社役員</td> </tr> </tbody> </table>			所属	任期	種別	国立病院機構 旭川医療センター	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	卒業生（看護学科）	医療法人社団 shindo 旭川リハビリテーション病院	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	卒業生（作業療法学科）・ 同窓会会長	旭川市保護司会事務局、 元旭川市職員及び元会社役員	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	地域関係者・保護司	北央自動車学校	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	地域関係者・会社役員
所属	任期	種別															
国立病院機構 旭川医療センター	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	卒業生（看護学科）															
医療法人社団 shindo 旭川リハビリテーション病院	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	卒業生（作業療法学科）・ 同窓会会長															
旭川市保護司会事務局、 元旭川市職員及び元会社役員	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	地域関係者・保護司															
北央自動車学校	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	地域関係者・会社役員															
<p>学校関係者評価結果の公表方法 学校ホームページ http://hokuho.ac.jp/csr/</p> <p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>学校ホームページ http://hokuho.ac.jp/csr/</p>																	
<p>第三者による学校評価（任意記載事項）</p>																	

c) 当該学校に係る情報

<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>学校ホームページ http://hokuho.ac.jp/csr/</p>
--